

施策番号	0205		
施策名	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
概要	社会問題化している配偶者等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発や自立支援とともに、女性に対する性的いやがらせなど、あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発を強化する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関係する 主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数(京都府)(件)	a	a	6,626	7,130	3,045	234.2%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	c	c	17 3.8%	110 24.6%	177 39.6%	77 17.2%	66 14.8%	447
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					29 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 施策の直接的な対象者は配偶者等からの暴力を受けた者に限られ、市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため、客観指標総合評価を重視する。						28 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・普及啓発等により、DVやセクシュアル・ハラスメントが社会的に認知されてきていることから、被害の顕在化は進んでいるが、被害者等以外には効果を実感することが難しいものであるため、市民生活実感調査ではどちらとも言えないとの回答が最も多く、昨年度に引き続きc評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	DV対策事業	64,775	64,709	良い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・支援を必要としている被害者だけでなく、広く市民にDVの基礎知識が浸透するよう、多様な手法で啓発活動を行っていく。
- ・平成28年3月に改定した第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）における京都市DV対策基本計画に基づき、若年層を対象とした啓発に重点的に取り組むなど、配偶者等からの暴力の根絶に向けた取組を総合的かつ計画的に推進する。

施策名	0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶				
指標名	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数（京都府）（件）					
担当課	男女共同参画推進課		連絡先	2 2 2 - 3 0 9 1		
1 指標の説明						
京都市DV相談支援センター及び京都府家庭支援総合センターにおける京都市域のDV（配偶者・交際相手等からの暴力）に関する関係機関との調整件数を含む対応件数						
2 指標の意味						
重大な人権侵害であるDVの救済に向けた貢献度を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課及び京都府家庭支援総合センター調査						
4 数値						
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	6,626	7,130	504件増	3,045	32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（※前年度目標値比73件増）	234.2%
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		3,264件	32年度	218.4%	平成21年度実績(2,468件)を基準に、5年毎に15%増の目標値を設定。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：70%以上100%未満 c：30%以上70%未満 d：10%以上30%未満 e：10%未満						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下20～40%刻みでb～e評価						
7 評価結果						
28		29		30		
a		a		a		